

▼乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒・▼アルミゲル細粒 99% [内]

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】乾燥水酸化アルミニウムゲル dried aluminum hydroxide gel 【分類】制酸剤

【単位】▼g

【常用量】1～3g/日

【用法】分3～4

【透析患者への投与方法】禁忌 [長期投与によりアルミニウム脳症, 骨症, 貧血があらわれることがある] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】長期投与によりアルミニウム脳症, 骨症, 貧血があらわれることがあるため慎重投与 [定期的に血中アルミニウム, リン, カルシウム, アルカリフォスファターゼ等の測定を行うこと] (1)

【特徴】過剰の酸を中和, CO₂ を発生しないので二次的な酸分泌を起こさない。ゲル状になって胃内に分散し、広範な吸着面を作って多量の胃酸を中和し、長期にわたり潰瘍面を保護する

【主な副作用・毒性】便秘, 悪心・嘔吐, アルミニウムによる毒性

【安全性に関する情報】骨に蓄積する (1)

【吸収】食事時のアルミニウム吸収率は 0.14% であるが, 薬剤による吸収率はその 1/10 以下である (飯塚 舜介: アルミニウムの吸収・代謝・排泄に関する研究 <https://kaken.nii.ac.jp/d/p/06807035.html>)

【F】微量が吸収 (1)

【排泄】腸排泄。アルミニウムは吸収されて腎排泄される (1) 【CL】 $5.5 \pm 3.5 \text{ mL/min}$ (1)

【t_{1/2}】8hr (飯塚 舜介: アルミニウムの吸収・代謝・排泄に関する研究 <https://kaken.nii.ac.jp/d/p/06807035.html>)

【蛋白結合率】Al の蛋白結合率は 80% (Stummvoll HK et al: Miner Electrolyte Metab 10: 263-6, 1984) 80～90% (1)

【Vd】資料なし (1) BBB を通過するがその量は不明 (1)

【MW】78.00

【透析性】組織移行したアルミニウムの除去は困難 (5) デフェロキサミン投与後に除去できる (1)

【相互作用】テトラサイクリン, ニューキノロンとキレート結合し吸収阻害を起こすため併用する際には本剤を食間服用, 他剤を食後服用すること (1) クエン酸製剤, ミコフェノール酸モフェチル, レボチロキシシン, ペニシラミンなどの吸収率低下 (1) クエン酸製剤はアルミニウムの消化管吸収を増加 (1)

【更新日】20170119

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。